

平成25年台風第26号による被害状況等について（第10報）

- ※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。
- ※ 下線部は、前回からの変更箇所

平成25年10月20日
10時00分現在
内閣府

1. 気象状況（気象庁情報：10月19日15:00現在）

（1）気象の概況と見通し

【概況】

- ・ 10月11日03時にマリアナ諸島付近で発生した台風第26号は、16日明け方に大型で強い勢力で伊豆諸島北部を通過し、その後16日15時に三陸沖で温帯低気圧となった。
- ・ この台風により、東日本、北日本の太平洋側を中心に大雨となった。特に東京都大島町では、1時間に100ミリ以上の猛烈な雨が降り、24時間雨量が824ミリに達するなど、記録的な大雨となった。また、全国的に20メートル以上の非常に強い風が吹き、宮城県女川町では33.6メートル、千葉県銚子市では33.5メートルの猛烈な風を記録した。

【20日から26日までの見通し】

- ・ 猛烈な台風第27号は、19日12時現在、マリアナ諸島付近にあって、時速15キロメートルで西北西に進んでいる。台風は、今後北上し、日本付近に接近するおそれがある。
- ・ 今夜から明日にかけてと、23日から25日にかけて、全国的に雨の降るところがある。
- ・ に、23日から25日にかけては、本州の南岸に停滞する前線と台風の影響により雨と風の強まる場所がある見込み。

（2）大雨等の状況（10月14日0時～10月16日24時）

・ 主な1時間降水量

（アメダス観測値）

東京都	大島	122.5 ミリ	16日 3時 53分まで
東京都	大島北ノ山	64.0 ミリ	16日 4時 19分まで
茨城県	鹿嶋	62.5 ミリ	16日 5時 54分まで
千葉県	千葉	61.5 ミリ	16日 5時 39分まで
千葉県	船橋	58.5 ミリ	16日 5時 54分まで
千葉県	香取	55.5 ミリ	16日 6時 11分まで
茨城県	鉾田	53.5 ミリ	16日 6時 27分まで
千葉県	勝浦	50.5 ミリ	15日 20時 06分まで
東京都	東京	49.5 ミリ	16日 5時 25分まで
千葉県	佐倉	49.5 ミリ	16日 6時 02分まで

（気象レーダー等による解析（※））

東京都	大島町	120 ミリ以上	16日 04時 00分まで
茨城県	行方市	約 80 ミリ	16日 06時 30分まで
長野県	富士見町	約 80 ミリ	16日 08時 00分まで
茨城県	鹿嶋市	約 70 ミリ	16日 06時 00分まで
茨城県	潮来市	約 70 ミリ	16日 06時 30分まで
千葉県	千葉市	約 70 ミリ	16日 06時 00分まで
千葉県	市川市	約 70 ミリ	16日 06時 30分まで
千葉県	松戸市	約 70 ミリ	16日 06時 00分まで
千葉県	成田市	約 70 ミリ	16日 06時 30分まで
千葉県	鎌ヶ谷市	約 70 ミリ	16日 06時 30分まで
千葉県	香取市	約 70 ミリ	16日 06時 00分まで
東京都	利島村	約 70 ミリ	16日 02時 00分まで

・主な24時間降水量

(アメダス観測値)

東京都	大島	824.0ミリ	16日8時20分まで
東京都	大島北ノ山	412.0ミリ	16日8時20分まで
静岡県	天城山	395.5ミリ	16日9時30分まで
千葉県	鋸南	370.5ミリ	16日10時20分まで
茨城県	鹿嶋	362.5ミリ	16日14時10分まで
千葉県	香取	351.5ミリ	16日12時20分まで
千葉県	坂畑	336.5ミリ	16日11時20分まで
千葉県	成田	327.0ミリ	16日12時10分まで
千葉県	木更津	323.5ミリ	16日11時50分まで
千葉県	館山	321.5ミリ	16日9時40分まで

(気象レーダー等による解析(※))

東京都	大島町	約800ミリ	16日08時00分まで
静岡県	伊豆市	約500ミリ	16日08時00分まで
千葉県	富津市	約450ミリ	16日08時00分まで
茨城県	鹿嶋市	約400ミリ	16日11時00分まで
茨城県	潮来市	約400ミリ	16日11時00分まで
茨城県	行方市	約400ミリ	16日11時00分まで
千葉県	君津市	約400ミリ	16日08時00分まで
千葉県	香取市	約400ミリ	16日11時00分まで
千葉県	鋸南町	約400ミリ	16日08時00分まで
東京都	利島村	約400ミリ	16日06時00分まで
静岡県	伊東市	約400ミリ	16日08時00分まで

・主な期間降水量

(アメダス観測値)

東京都	大島	824.0ミリ
東京都	大島北ノ山	412.5ミリ
静岡県	天城山	399.0ミリ
千葉県	鋸南	370.5ミリ
茨城県	鹿嶋	362.5ミリ
千葉県	香取	351.5ミリ
千葉県	坂畑	338.0ミリ
千葉県	成田	327.0ミリ
千葉県	木更津	323.5ミリ
千葉県	館山	321.5ミリ

(気象レーダー等による解析(※))

東京都	大島町	約800ミリ
静岡県	伊豆市	約500ミリ
千葉県	富津市	約450ミリ
茨城県	鹿嶋市	約400ミリ
茨城県	潮来市	約400ミリ
茨城県	行方市	約400ミリ
千葉県	木更津市	約400ミリ
千葉県	君津市	約400ミリ

千葉県	香取市	約 400 ミリ
千葉県	鋸南町	約 400 ミリ
東京都	利島村	約 400 ミリ
静岡県	伊東市	約 400 ミリ

・ 主な最大風速

(アメダス観測値)

宮城県	江ノ島	33.6m/s	(北北東)	16日 9時 49分
千葉県	銚子	33.5m/s	(北北西)	16日 8時 25分
北海道	納沙布	25.1m/s	(北東)	16日 14時 56分
東京都	八丈島	25.0m/s	(南南西)	16日 4時 11分
北海道	えりも岬	24.7m/s	(北北東)	16日 10時 12分
北海道	根室	24.5m/s	(北北西)	16日 19時 00分
東京都	神津島	24.4m/s	(北北西)	16日 5時 35分
岡山県	奈義	23.8m/s	(北)	16日 2時 35分
東京都	八重見ヶ原	23.6m/s	(南南西)	16日 4時 28分
千葉県	成田	23.5m/s	(北北西)	16日 7時 36分
鳥取県	湖山	23.5m/s	(北)	16日 1時 54分

・ 主な最大瞬間風速

(アメダス観測値)

千葉県	銚子	46.1m/s	(北北西)	16日 8時 19分
宮城県	江ノ島	45.5m/s	(北北東)	16日 9時 32分
東京都	八丈島	44.7m/s	(南南西)	16日 3時 34分
東京都	八重見ヶ原	43.2m/s	(南南西)	16日 3時 16分
東京都	神津島	39.1m/s	(北北西)	16日 5時 52分
千葉県	館山	38.5m/s	(北)	16日 6時 50分
北海道	えりも岬	37.1m/s	(北北東)	16日 10時 09分
神奈川県	三浦	37.0m/s	(北)	16日 6時 30分
北海道	根室	36.7m/s	(北北西)	16日 18時 53分
岡山県	奈義	36.7m/s	(北)	16日 3時 13分

(3) 波浪の状況 (10月14日0時～10月16日24時)

・ 主な波浪最高値【気象庁所管】

京都府	経ヶ岬	7.9m	10月16日 06時 00分
静岡県	石廊崎	8.6m	10月16日 07時 00分

・ 主な波浪最高値【国土交通省港湾局所管】

沖縄県	中城湾港	6.4m	10月15日 08時 20分
鹿児島県	志布志港	7.4m	10月15日 14時 00分
福岡県	玄界灘	7.2m	10月16日 00時 20分
島根県	浜田港	6.0m	10月16日 00時 00分
鳥取県	鳥取港	6.6m	10月16日 02時 40分
兵庫県	柴山港	7.3m	10月16日 05時 20分
和歌山県	潮岬	8.2m	10月16日 01時 20分
静岡県	御前崎港	9.9m	10月16日 04時 40分
静岡県	清水港	6.1m	10月16日 07時 20分
茨城県	鹿島港	7.5m	10月16日 09時 40分
茨城県	茨城港常陸那珂	6.6m	10月16日 07時 40分
福島県	小名浜港	7.5m	10月16日 11時 40分

岩手県	久慈港	7.3m	10月16日 14時00分
青森県	八戸港	7.1m	10月16日 11時40分
GPS 波浪計	和歌山南西沖	6.2m	10月16日 02時40分
GPS 波浪計	三重尾鷲沖	9.6m	10月16日 02時40分
GPS 波浪計	伊勢湾口沖	8.9m	10月16日 05時00分
GPS 波浪計	静岡御前崎沖	11.0m	10月16日 06時00分
GPS 波浪計	福島県沖	8.8m	10月16日 11時40分
GPS 波浪計	宮城中部沖	8.4m	10月16日 14時20分
GPS 波浪計	宮城北部沖	9.4m	10月16日 16時00分
GPS 波浪計	岩手南部沖	9.5m	10月16日 17時40分
GPS 波浪計	岩手中部沖	9.1m	10月16日 19時20分
GPS 波浪計	岩手北部沖	8.4m	10月16日 16時20分
GPS 波浪計	青森東岸沖	7.6m	10月16日 09時20分

(4) 潮位の状況 (10月14日0時~10月16日24時)

- ・ 主な最高潮位(波浪の影響による短周期変動を除去した値)【気象庁所管】
 岩手県 宮古(臨時) 標高 100cm 10月16日 13時13分

2. 人的・物的被害の状況 (消防庁調べ：10月20日9:00現在)

都道府県名	人的被害				住家被害						非住家被害	
	死者 人	行方不明者 人	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟	床上浸水 棟	床下浸水 棟	合計 棟	公共建物 棟	その他 棟
			重傷 人	軽傷 人								
北海道							92		1	93		
青森県							3			3		2
岩手県				4			40	0		40		
宮城県			1	2	1		19		3	23		1
山形県							1			1		
福島県				1			8		7	15		2
茨城県			1	10	3	1	33	76	328	441		
栃木県			1	16	1	3	159		2	165		1
群馬県			1	1		1	18			19		
埼玉県				8				23	128	151		
千葉県	1	0	2	17	4	3	48	834	1,717	2,606		
東京都	28	22		2	30		1	2	25	58	3	15
神奈川県		2	3	11			58		9	67		
新潟県				3						0		
富山県			1							0		
長野県				1						0		
静岡県	1		5	3		1	8			9		
愛知県				3						0		
三重県			1							0		
鳥取県							1			1		
福岡県			1							0		
合計	30	24	17	82	39	9	489	935	2,220	3,692	3	21

※ 東京都の死者について、28名中27名は大島町で発生したもの

※ 東京都の行方不明者及び住家被害については確認中

○死者の状況（警察庁調べ：10月20日9:30現在）

【東京都】（警察庁調べでは死者28名）

- ・町田市内で、40代女性が境川の中州の樹木にしがみついているのが発見されたが、力尽きて流され、その後神奈川県内において遺体を発見
- ・大島町の死者発見場所：神達地区17名、元町地区6名、不明4名

【静岡県】

- ・富士宮市内で、看板撤去作業中、80歳女性が強風に煽られて転倒し、くも膜下血腫の重傷であったが、10月17日、脳挫傷で死亡。

【神奈川県】

- ※二宮町内で、波にさらわれて行方不明の海を見に行った12歳の小学生男児2名のうち、1名を10月17日、遺体で発見。（消防庁調べの表中に計上されていない）

【千葉県】

- ・成田市内で、自宅に土砂が流入し、56歳男性が行方不明。10月19日、同所より遺体で発見。

○行方不明者の状況（警察庁調べ：10月20日9:30現在）

【東京都（大島町地内）】

- ・詳細な状況について確認中

【神奈川県】

- ・二宮町内で、海を見に行った12歳の小学生男児2人が波にさらわれて行方不明。うち1名を、10月17日、遺体で発見。（1名が行方不明）
- ・川崎市内で、70歳位の男性が川に流されて行方不明

3. 避難状況等

(1) 避難指示、勧告（消防庁調べ：10月20日9:00現在）

都道府県名	市区町村名	避難指示				避難勧告				
		対象世帯数	対象人数	指示日時	解除日時	対象世帯数	対象人数	勧告日時	解除日時	
青森県	鱒ヶ沢町	1	1	10月16日 12時55分						
	小計	1	1			0				
岩手県	盛岡市					518	1,497	10月16日 10時50分	10月16日 15時45分	
	野田村					251	689	10月16日 11時50分	10月16日 14時35分	
	小計	0	0			769	2,186			
山形県	山形市					222	697	10月16日 10時35分	10月16日 12時00分	
	小計	0	0			222	697			
埼玉県	川越市	1,574	3,711	10月16日 5時25分	10月16日 11時30分					
	小計	1,574	3,711			0	0			
千葉県	千葉市					4,412	10,184	10月16日 5時13分	10月16日 9時00分	
	館山市					40	100	10月16日 5時20分	10月16日 8時30分	
千葉県	木更津市					40	344	10月16日 5時10分	10月16日 14時45分	
	茂原市					5,387	12,663	10月16日 5時50分	10月16日 14時40分	
	佐倉市	1,455	2,842	10月16日 7時10分	10月16日 16時20分					
	東金市					540	1,320	10月16日 7時18分	10月16日 14時45分	
	市原市		2,588	6,139	10月16日 6時30分	10月16日 11時00分	2,588	6,139	10月16日 4時40分	10月16日 6時30分
									10月16日 11時00分	10月16日 12時00分
						344	726	10月16日 6時10分	10月16日 9時45分	
	君津市	3,360	8,840	10月16日 3時00分	10月16日 13時18分	3,360	8,840	10月16日 1時50分	10月16日 3時00分	
								10月16日 13時18分	10月16日 18時00分	
	富津市					81	243	10月16日 4時50分	10月16日 9時25分	
	袖ヶ浦市	1,360	3,690	10月16日 7時30分	10月16日 11時30分					
	白井市	3	8	10月16日 8時00分	10月16日 17時00分					
						52	238	10月16日 7時00分	10月16日 12時00分	
	南房総市					518	1,298	10月16日 2時45分	10月16日 15時00分	
	匝瑳市					4	11	10月16日 1時13分	10月16日 10時10分	
	香取市					90	100	10月16日 7時55分	10月16日 10時15分	
						971	2,649	10月16日 12時05分	10月16日 17時25分	
	いすみ市					14	23	10月15日 22時05分	10月16日 14時00分	
栄町					5	6	10月16日 7時00分	10月16日 17時00分		
多古町					7	25	10月16日 7時45分	10月16日 17時00分		
					7	25	10月16日 11時00分	10月16日 17時00分		
横芝光町					9	13	10月16日 14時30分	10月17日 8時00分		
大多喜町					223	518	10月16日 8時00分	10月16日 10時30分		
鋸南町					39	87	10月16日 1時40分	10月16日 14時45分		
	小計	14,102	34,930			32,614	78,408			
東京都	大島町					1,000	1,900	10月19日 17時05分		
						200	400	10月19日 17時15分		
	神津島村					確認中	322	10月19日 18時38分		
	小計	0	0			1,200	2,622			
神奈川県	横浜市					5	12	10月16日 12時15分		
	横須賀市					1	2	10月16日 5時20分	10月17日 13時00分	
	小計	0	0			11	31			
長野県	栄村					22	60	10月15日 19時00分	10月16日 16時00分	
	小計	0	0			22	60			
滋賀県	栗東市					173	601	10月15日 21時30分	10月16日 6時00分	
	小計	0	0			173	601			
合計		15,677	38,642			35,011	84,605			

(2) 避難状況（消防庁情報：10月19日18:00現在）

- ・東京都：大島町 906（※現地災害対策室情報：10月19日21:00現在）
（大島高校 470、北の山公民館 75、岡田さくら小学校 140、旧泉津小学校体育館 159、大島けんこうセンター22、椿の里 40）
- ・千葉県：55名（茂原市 48、我孫子市 2、八千代市 2、香取市 3）

(3) 孤立の状況（消防庁情報：10月19日9:00現在）

- ・現在、孤立の情報なし

4. その他被害の状況

(1) 土砂災害（国土交通省調べ：10月19日15:00現在）

○土石流等（1都1件）

- ・東京都 1件（大島町1）

○地すべり（1県1件）

- ・新潟県 1件（妙高市1）

○がけ崩れ（4都県53件）

- ・茨城県 9件（鉾田市2、行方市4、かすみがうら市1、竜ヶ崎市2）
- ・千葉県 17件（勝浦市1、香取市1、成田市2、市原市2、木更津市3、八千代市2、東金市1、印西市1、大網白里市1、横芝光町1、富津市1）
- ・東京都 2件（大島町1、日野市1）
- ・神奈川県 25件（横浜市4、横須賀市18、逗子市1、三浦市1、鎌倉市1）

※各被災箇所とも被災状況について詳細調査中

○平成23年台風第12号による大雨で生じた河道閉塞の状況

土砂災害防止法に基づく緊急調査を実施している奈良県・和歌山県の河道閉塞5箇所について、現在のところ、大きな変状や施設被害等はなし。

○土砂災害警戒情報の発表状況（10月19日15:00現在）

- ・現在、発表されている市町村・地域は無し。
- ・大規模な土砂災害を考慮し、以下の市町村・地域については土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用
東京都大島町： 通常基準の8割

(2) 河川（国土交通省調べ：10月19日15:00現在）

○国管理河川の出水状況

- ・現在、計画高水位を超えている河川 0水系0河川
- ・現在、はん濫危険水位を超えている河川 0水系0河川
- ・現在、避難判断水位を超えている河川 0水系0河川
- ・現在、はん濫注意水位を超えている河川 0水系0河川

(3) ライフライン

○電力（経済産業省調べ：10月19日17:20現在）

・北海道電力㈱

①停電戸数： 0戸（延べ停電数 約20,992戸）

・東北電力㈱

①停電戸数： 0戸（延べ停電数 約22,198戸）

- ・ 東京電力(株)
①停電戸数： 0 戸（延べ停電数 約 287, 000 戸）
- ・ 中部電力(株)
①停電戸数： 0 戸（延べ停電数 約 34, 180 戸）
- ・ 北陸電力(株)
①停電戸数： 0 戸（延べ停電数 約 1, 754 戸）
- ・ 関西電力(株)
①停電戸数： 0 戸（延べ停電数 約 7, 070 戸）
- ・ 中国電力(株)
①停電戸数： 0 戸（延べ停電数 約 43, 100 戸）
- ・ 四国電力(株)
①停電戸数： 0 戸（延べ停電数 約 460 戸）
- ・ 九州電力(株)
①停電戸数： 0 戸（延べ停電数 約 2, 103 戸）
- ・ 沖縄電力(株)
①停電戸数： 0 戸（延べ停電数 約 100 戸）

○都市ガス（経済産業省調べ：10月19日16:30現在）

- ・ 東京ガス
東京都江東区、神奈川県横浜市及び鎌倉市で、差し水により供給支障（3 か所、計 213 戸）が発生。
（復旧済）
- ・ 京葉ガス
千葉県白井市で、土砂崩れによる道路崩壊により埋設されたガス管が損傷。（応急措置済。）

○水道（厚生労働省調べ：10月19日16:30現在）

県、市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【静岡県】 伊東市	110戸	(復旧済)	H25.10.16	
【東京都】 大島町	約3,000戸	約400戸	H25.10.16～	導水管・送水管・配水管破損
八丈町	約1,600戸	(復旧済)	H25.10.16	
【千葉県】 三芳水道企業団	50戸	(復旧済)	H25.10.16	給水管破損
千葉県水道局	13戸	(復旧済)	H25.10.16	
成田市	1戸	1戸	H25.10.16～	
富津市	1戸	(復旧済)	H25.10.16	
鋸南町	480戸	(復旧済)	H25.10.17	
【茨城県】 鉾田市	2戸	(復旧済)	H25.10.16	
行方市	8戸	(復旧済)	H25.10.16	
笠間市	約200戸	(復旧済)	H25.10.16	
【岩手県】 北上市	2,209戸	(復旧済)	H25.10.16	
盛岡市	13戸	(復旧済)	H25.10.16	
陸前高田市	73戸	(復旧済)	H25.10.16 ～H25.10.17	
宮古市	9戸	(復旧済)	H25.10.16 ～H25.10.17	
【群馬県】 板倉町	1,300戸	(復旧済)	H25.10.16	

○応急給水状況（10月19日16:30現在）

【東京都】

(大島町) 給水車による応急給水

・東京都水道局の支援体制

応急給水車(2台)、特別緊急車(1台)、職員8名体制

給水袋(6,000枚)、350ペットボトル水(10,000本)を支援

- ・土砂崩れにより甚大な被害を受けた元町神達地区は断水が長期化する見込み
- ・断水区域を減らすため、系統変更による配水を検討中。その他の地区は復旧に向かっている。

○通信関係の状況（総務省調べ：10月19日16:30現在）

	事業者	被害状況等
固定電話	NTT東日本	・133回線（東京都）の電話回線が断線 ・22回線の専用線が断線
	NTT西日本	・被害なし
	NTTコミュニケーションズ	・被害なし
	KDDI	・被害なし
	ソフトバンクテレコム	・1回線の専用線が断線
携帯電話等	NTTドコモ	・3→1局（東京都：1局、北海道：2局→復旧）が停波
	KDDI（au）	・5局（東京都：1局、埼玉県：2局、千葉県：2局）が停波
	ソフトバンクモバイル	・3→2局（栃木県：1局、千葉県：1局→復旧、東京都：1局）が停波
	イー・アクセス	・4→2局（茨城県：1局、埼玉県：1局→復旧、東京都：1局、神奈川県：1局→復旧）が停波
	ウィルコム	・復旧済み
	UQコミュニケーションズ	・6局（宮城県：1局、埼玉県：3局、神奈川県：2局）が停波。 →復旧済み
	ワイヤレスタイプラジコ	・復旧済み

○放送関係の状況（総務省調べ：10月19日16:30現在）

<地上波>

	事業者・影響世帯数等	被害状況等
東京都	・NHK及び民放6社（全局停波） ・障害エリア：東京都八丈町の一部 ・影響：約60世帯 （復旧済）	・商用電源停止後、非常用電源が尽きたことにより、停波。商用電源の回復に伴い復旧。 ・10月16日13:58～15:23 （1時間25分停波）
宮城県	・NHK及び民放4社（全局停波） ・障害エリア：宮城県気仙沼市の一部 ・影響：約300世帯 （復旧済）	・倒木により商用電源が停止し、停波。商用電源の回復に伴い復旧。 ・10月16日12:15～16:22 （4時間7分停波）
静岡県	・民放4社 ・障害エリア：東伊豆町周辺 ・影響：約1,400世帯 （復旧済）	・商用電源が停止後、非常用発電機が機能不全に陥ったことから、停波。予備の非常用発電機の稼働により復旧。 ・10月16日4:00～17日16:00 （36時間停波）
茨城県	・茨城放送のAMラジオ親局及び中継局 ・障害エリア：茨城県全域 ・影響：茨城県全域 （復旧済）	・台風の強風により、アンテナ設備が故障して停波した模様。現在、応急措置により復旧済み。 ・10月16日8:11～9:05 （54分間停波）

(4) 道路（国土交通省調べ：10月19日14:00現在）

○高速道路：被災による通行止めなし

○直轄国道：被災による通行止めなし

○有料道路（公社）：被災による通行止めなし

○都道府県管理国道：被災による通行止め 1区間

路線名	区間名	被災状況	備考
国道 338 号	青森県佐井村野平～むつ市脇野沢源藤城	路肩崩落	10/16 16:00 全面通行止 迂回路：有 孤立集落：無 人身・物損：無

○都道府県道：現在 14 区間で通行止め（倒木、法面崩落、路肩崩壊、路面陥没、土砂流出等）
（岩手県 1、宮城県 1、福島県 1、群馬県 1、神奈川県 1、千葉県 5、山梨県 1、新潟県 1、静岡県 1、鳥取県 1）

(5) 交通機関

○鉄道関係（国土交通省調べ：10月19日15:00現在）

・現在、2 事業者 3 路線 運転休止

事業者名	線 名	運転休止区間	運転休止		運転再開		主な被害状況等
			日	時刻	日	時刻	
JR北海道	日高線	鶴川駅～静内駅間	10/16	始発	10/17	19:58	土砂流入（新冠駅～静内駅間）、盛土流出（豊郷駅～清島駅間）
	根室線	富良野駅～新得駅間	10/16	12:05	10/18	始発	倒木（下金山駅～金山駅間）、ケーブル切断（送電災害）
JR東日本	内房線	佐貫町駅～浜金谷駅間	10/16	4:43			のり面損壊（上総湊駅～竹岡駅間湊川橋りょう付近）
	久留里線	木更津駅～久留里駅間	10/16	5:08	10/18	12:00	道床流出（俵田駅～久留里駅）
		久留里駅～上総亀山駅間	10/16	5:08			土砂崩壊（上総松丘駅～上総亀山間駅）
	成田線	成田駅～下総神崎駅間	10/16	4:47	10/17	始発	
		下総神崎駅～佐原駅間	10/16	4:47	10/17	17:38	土砂流入（香取駅～水郷駅）、冠水（下総神崎駅～大戸駅）
	佐原駅間～銚子駅	10/16	4:47	10/17	始発		
小湊鉄道	小湊鉄道線	里見駅～上総中野駅	10/16	始発			盛土損壊（養老溪谷駅～上総中野駅間）

○航空関係（国土交通省調べ：10月19日15:00現在）

- ・空港施設等被害情報なし
- ・欠航便なし

(6) 文教施設等（文部科学省調べ：10月19日16:00現在）

区 分	被災箇所数
国立学校施設	8
公立学校施設	214
私立学校施設	
社会教育・体育、文化施設等	115
文化財等	6
研究施設等	1*
計	344

・主な被害状況：倒木、建具・ガラス損傷、屋根破損、法面崩壊 等

※ 独立行政法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所において、汚染除去場の屋根材が一部損傷。ただし、本施設は、平成 18 年 11 月から汚染除去作業を実施しておらず、放射性廃棄物 及び放射性物質は保管されていない。念のため汚染検査を実施し、汚染が無いことを確認。

(7) 農林水産関係 (農林水産省調べ : 10月18日15:00現在)

区分	主な被害	被害数	被害地域 (現在23都道府県から報告あり)
農作物等	農作物等の損傷	2,823ha	北海道、岩手県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、滋賀県、兵庫県和歌山県、岡山県、山口県、高知県、沖縄県
	ビニールハウスの破損	1,225件	北海道、岩手県、栃木県、千葉県、東京都、神奈川県山梨県、長野県、愛知県、滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県、岡山県、山口県、高知県
	牛舎等の破損	5件	北海道、愛知県、京都府、岡山県
農地・農業用施設関係	農地の損壊	1箇所	千葉県
	農業用施設の損壊	18箇所	岩手県、茨城県、千葉県
林野関係	林地荒廃	33箇所	茨城県、栃木県、千葉県、東京都
	治山施設	8箇所	茨城県、千葉県、鳥取県
	林道施設等	8箇所	千葉県
水産関係	漁船	33隻	北海道、宮城県、東京都、和歌山県
	漁港施設	7漁港	青森県、千葉県、東京都、静岡県
	養殖施設	36件	宮城県
	水産物	210トン	宮城県

注：被害については、現時点で判明しているものを記載しており、引き続き調査中。

(8) 社会福祉施設等関係 (厚生労働省調べ : 10月19日16:30現在)

- ・北海道で 5 ヶ所被災 (雨漏り、屋根破損等)
 - ・東京都で 9 ヶ所被災 (雨漏り、屋根破損、浸水等)
 - ・神奈川県で 6 ヶ所被災 (雨漏り、屋根破損等)
 - ・千葉県で 129 ヶ所被災 (雨漏り、屋根破損、浸水等)
 - ・栃木県で 10 ヶ所被災 (雨漏り、屋根破損等)
 - ・茨城県で 20 ヶ所被災 (雨漏り、屋根破損等)
 - ・愛知県で 28 ヶ所被災 (雨漏り、屋根破損等)
- いずれも人的被害なし。

(9) 医療施設等関係 (厚生労働省調べ : 10月19日16:30現在)

- ・北海道で 2 ヶ所被災 (停電)
 - ・群馬県で 1 ヶ所被災 (床上浸水)
 - ・栃木県で 16 ヶ所被災 (雨漏り、窓ガラス破損等)
 - ・千葉県で 26 ヶ所被災 (床上浸水、雨漏り、窓ガラス破損等)
- いずれも人的被害なし。

(10) 観光関係（国土交通省調べ：10月19日15:00現在）

- ・東京都の登録旅館の1施設において土砂流入の被害あり
- ・茨城県の非登録の宿泊施設1施設において土砂流入、1施設において温泉設備の被害あり

(11) その他

○がれきの発生状況（環境省調べ：10月19日17:00現在）

- ・現在、調査中

5. 政府の主な対応

(1) 内閣総理大臣指示

安倍内閣総理大臣から以下の指示が発せられた。（10月16日9:00）

- 1. 緊張感を持って被害状況の把握に努めること。
- 2. 被災者の救命・救助を第一に、救出活動に全力を尽くすこと。
- 3. ライフラインの復旧など、関係省庁一体となって応急対策に当たること。

(2) 内閣総理大臣による現地調査

- ・安倍内閣総理大臣が東京都大島町の被災地を調査予定であったが、19日以降の雨に備え住民が避難することになったことから取りやめ。

(3) 政府調査団の派遣

- ・古屋内閣府特命担当大臣（防災）を団長とする政府調査団を東京都大島町に派遣（10月19日）

(4) 政府現地災害対策室の設置

- ・台風第26号により大きな被害が生じた東京都大島町において、台風第27号の接近が懸念されることから、住民の避難や二次災害防止対策をはじめとする災害応急対策を、現地において、被災地方公共団体及び関係省庁が一体となって迅速かつ確に実施するため、政府現地災害対策室（室長：内閣府大臣官房審議官（防災担当））を設置（8府省庁、東京都、大島町）（10月19日14:00）

(5) 関係省庁災害対策会議等の開催

- ・関係省庁災害警戒会議を開催し、今後の気象状況の見通し及び各省庁の対応状況について情報共有を実施（10月15日11:30）
- ・関係省庁災害対策会議を開催し、今後の気象状況の見通し及び被害状況並びに各省庁の対応状況について情報共有を行うとともに以下のとおり確認した。（10月16日11:30）

○台風第26号による大雨等への対応にあたっては、総理指示を踏まえるとともに、以下のとおり、関係地方公共団体と連携を密にし、対応に万全を期することとする。

- 1. 迅速に被害状況等を把握し、関係省庁間で情報共有を図ること
- 2. 被災した地域における被害の拡大防止に努めること
- 3. 台風第26号が暴風域を伴いながら北上中であることを踏まえ、今後の気象状況を注視しながら、緊張感を持って、警戒・監視にあたること

- ・古屋内閣府特命担当大臣（防災）、西村内閣府副大臣、亀岡内閣府政務官、松本内閣府政務官の出席のもと、第2回関係省庁災害対策会議を開催（10月17日）

- ・古屋内閣府特命担当大臣（防災）、西村内閣府副大臣、亀岡内閣府政務官、松本内閣府政務官の出席のもと、第3回関係省庁災害対策会議を開催し、以下のとおり確認した。（10月18日17:15）

- 台風第26号による大雨等への対応にあたっては、総理指示を踏まえるとともに、以下のとおり、関係地方公共団体と連携を密にし、対応に万全を期することとする。
1. 迅速に被害状況等を把握し、関係省庁間で情報共有を図ること
 2. 台風第27号の接近が見込まれることから、今後の気象状況を注視しながら、緊張感を持って、警戒・監視にあたるとともに、被害の拡大防止に努めること
 3. 被災者の方が一日も早く通常の生活に戻れるように対応すること
 4. 避難勧告の発出のあり方など、今回の災害対応における課題について、関係省庁において早急に検討すること

(6) 災害救助法の適用

東京都において多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受ける恐れが生じ、多数の住家に被害が生じたため。

- ・東京都：大島町（10月16日適用）

また、千葉県において住家に多数の被害が生じたため。

- ・千葉県：茂原市（10月16日適用）

(7) 被災者生活再建支援法の適用

- ・東京都：大島町（10月16日適用）

(8) 自衛隊の災害派遣

- ・東京都知事から第1師団長に対し、災害派遣要請（10月16日10:20）
- ・東部方面航空隊のUH-1（2機）が情報収集のため立川駐屯地を離陸（10月16日11:28）
- ・東部方面航空隊のUH-1（1機）が情報収集のため立川駐屯地を離陸（10月16日11:34）
- ・第1普通科連隊のFAST-Force（人員約10名）がUH-60（1機）にて練馬駐屯地を離陸（10月16日11:58）、12:40現地到着以降、行方不明者捜索活動を開始。
- ・第1普通科連隊の捜索部隊（人員約40名）がUH-1（4機）にて練馬駐屯地を離陸（10月16日12:28）、13:04現地到着以降、行方不明者捜索活動を開始。
- ・第1普通科連隊の増援部隊（人員約30名、車両1両）がCH-47JA（2機）にて朝霞駐屯地を離陸（10月16日12:29）、13:18到着以降、行方不明者捜索活動を開始。
- ・第72航空群のUH-60J（1機）が患者空輸のため館山基地を離陸（10月16日13:50）、15:00現地到着後、3名の患者を収容。
- ・第72航空群のUH-60J（1機）が患者空輸のため館山基地を離陸（10月16日15:10）、15:30現地到着後、2名の患者を収容。
- ・第3輸送航空隊のC-1（1機）が大島町長の輸送のため、美保基地を離陸（10月16日15:12）、隠岐の島を経由し、16:53大島空港到着。
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が警視庁の機動部隊（人員22名）及び国交省のTEC-FORCE（人員2名）の人員空輸のため、入間基地を離陸（10月16日17:04）、17:27大島空港到着。
- ・防衛大臣、防衛副大臣、防衛大臣政務官より、今後の自衛隊の対応要領について指示。（特に、増援部隊及び適切な資機材の早期投入。関係省庁との連携について留意すること。）（10月16日18:00）
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が警視庁の増援部隊（人員47名）の人員空輸のため、入間基地を離陸（10月16日19:30）、19:52大島空港到着
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が国土交通省のTEC-FORCE（人員5名）及び消防応援部隊（第

1派：人員19名）の人員空輸のため、入間基地を離陸（10月16日21:19）、21:47大島空港到着。

- ・第1輸送隊の輸送艦（おおすみ）が広島湾から横須賀に向けて出発。（10月16日21:30）（10月18日の午前中に到着予定、じ後の災害派遣活動を想定して進出するもの。）
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が消防応援部隊（第2派：人員1名、車両1両）の人員等空輸のため、入間基地を離陸（10月16日22:34）、23:02大島空港到着。
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が消防応援部隊（第3派：人員1名、車両1両）の人員等空輸のため、入間基地を離陸（10月16日22:51）、23:24大島空港到着。
- ・第34普通科連隊の二次増援部隊（第1派）（人員約10名、車両1両）が第2輸送航空隊のC-1（1機）にて静浜基地を離陸（10月16日23:53）、17日0:17到着以降、行方不明者搜索活動を開始。
- ・第34普通科連隊の二次増援部隊（第2派）（人員約30名）が第2輸送航空隊のC-1（1機）にて静浜基地を離陸（10月17日0:23）、0:38到着以降、行方不明者搜索活動を開始。
- ・第34普通科連隊の二次増援部隊（第3派）（人員約30名）が第2輸送航空隊のC-1（1機）にて静浜基地を離陸（10月17日0:56）、1:14到着以降、行方不明者搜索活動を開始。
- ・第34普通科連隊の三次増援部隊（第1派）（人員約40名）が第2輸送航空隊のC-1（1機）にて入間基地を離陸（10月17日3:26）、3:49到着以降、行方不明者搜索活動を開始。
- ・第34普通科連隊の三次増援部隊（第2派）（人員約40名）が第2輸送航空隊のC-1（1機）にて入間基地を離陸（10月17日3:42）、4:15到着以降、行方不明者搜索活動を開始。
- ・第1普通科連隊の四次増援部隊（人員約40名）が第2輸送航空隊のC-1（1機）にて入間基地を離陸（10月17日4:16）、4:42到着以降、行方不明者搜索活動を開始。
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が緊急消防援助隊（横浜）（第1派：人員7名）の人員等空輸のため、入間基地を離陸（10月17日4:44）、5:09大島空港到着。
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が緊急消防援助隊（横浜）（第2派：人員2名、車両2両）の人員等空輸のため、入間基地を離陸（10月17日5:21）、5:49大島空港到着。
- ・東部方面航空隊のUH-1（2機）が情報収集のため立川駐屯地を離陸、10:00立川駐屯地着陸（10月17日7:48）
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が警視庁の特科車両隊等（第1派：人員33名）の人員空輸のため、入間基地を離陸、11:01大島空港到着（10月17日10:31）
- ・輸送艦（おおすみ）が横須賀基地に入港、8:00頃から、第1施設団等の部隊（人員約130名、車両約50両）の積載作業を開始（10月18日7:00）
- ・東部方面航空隊のUH-1（2機）が情報収集のため立川駐屯地を離陸（10月18日7:57）
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が警視庁車両×1の空輸のため、入間基地を離陸、10:27大島空港到着（第1派）（10月18日9:54）
- ・第2輸送航空隊のC-1（1機）が警視庁車両×1の空輸のため、入間基地を離陸、11:45大島空港到着（第2派）（10月18日11:18）
- ・輸送艦（おおすみ）に車両等の積載を完了、横須賀基地を出港（10月18日12:33）
- ・輸送艦（おおすみ）が伊豆大島の弘法ヶ浜沖に到着、15:39より車両等の搬出を逐次、LCAC（エアクッション艇）×2にて弘法ヶ浜への揚陸を開始（20:45時点で約1/3の車両等と揚陸完了）
- ・東部方面隊の輸送車両×2を第1輸送航空隊のC-130（1機）にて入間基地を離陸、16:27大島空港到着（10月18日15:48）
- ・第3輸送航空隊のC-1（1機）が緊急消防援助隊（浜松）（人員6名、車両1両）の人

- 員等空輸のため、浜松基地を離陸、3:19 大島空港到着 (10月19日 2:45)
 - ・ 第2輸送航空隊のC-1 (1機) が緊急消防援助隊 (さいたま) (人員2名、車両1両) の人員等空輸のため、入間基地を離陸、3:43 大島空港到着 (10月19日 3:23)
 - ・ 東部方面隊の輸送車両×1を第1輸送航空隊のC-130 (1機) にて入間基地を離陸、5:02 大島空港到着 (10月19日 4:27)
 - ・ 第2輸送航空隊のC-1 (1機) が緊急消防援助隊 (静岡) (人員2名、車両1両) の人員等空輸のため、静浜基地を離陸、5:38 大島空港到着 (10月19日 4:58)
 - ・ 第2輸送航空隊のC-1 (1機) が緊急消防援助隊 (富士市) (人員5名、車両1両) の人員等空輸のため、静浜基地を離陸、5:48 大島空港到着 (10月19日 5:11)
 - ・ 降雨に伴う二次災害の危険性から、行方不明者搜索活動を一次中断。第1輸送隊の輸送艦 (くにさき) がL C A C増強のため、呉基地から横須賀方面に向け出港 (10月19日 16:30)
 - ・ 輸送艦 (おおすみ) から弘法ヶ浜への車両等の揚陸を完了、18:14 横須賀基地に向け大島沖を出発 (10月19日 17:23)
 - ・ 輸送艦 (おおすみ) が横須賀基地に入港 (10月19日 21:25)
- | | | | | |
|--------|-----|-------|-----|----------|
| [派遣規模] | 人員 | 約400名 | (延べ | 約1,150名) |
| | 車両 | 約80両 | (延べ | 約160両) |
| | 航空機 | 5機 | (述べ | 34機) |
| | 艦艇 | 4隻 | (延べ | 7隻) |

(9) 各府省庁の対応

①内閣府の対応

- ・ 内閣府情報連絡室設置 (10月11日18:00)
- ・ 内閣府情報対策室に改組 (10月15日9:30)
- ・ 被災都道府県に対し、住家の被害状況調査の適切な実施、被災者生活再建支援制度の適用又はそれに準じる都道府県独自支援措置の活用等、被災者支援に万全の対応を行うよう要請 (10月16日11:10)
- ・ 内閣府災害対策室に改組 (10月16日11:30)
- ・ 避難所の状況等を調査するため、職員3名を大島町に派遣 (10月18日~19日)
- ・ 東京都との連絡調整のため、職員3名を東京都庁へ派遣 (19日~)

②警察庁の対応

- ・ 災害対策室長を長とする災害情報連絡室を設置し、連絡体制を強化するとともに関連情報の収集を実施 (10月16日7:06)
- 【警視庁による行方不明者の搜索等】
- ・ 警視庁はヘリテレ映像を官邸等に送信実施
 - ・ 合計151人2頭が搜索活動等に従事 (特殊救助隊6人、機動隊93人、支援部隊9人、警備犬2頭、ハンドラー3人、警察署員40人) (10月16日)
 - ・ 特殊救助隊 (6人)、機動隊 (97人)、刑事部隊 (17人)、通信 (2人)、警備犬 (2頭)、ハンドラー (3人)、支援部隊等30人、合計136人2頭を派遣 (10月17日)
 - ※合計246人4頭が搜索活動等に従事 (特殊救助隊12人、機動隊190人、警備犬4頭、ハンドラー6人、通信2人、本部員等37人)
 - ・ 派遣部隊合計240人2頭が搜索活動等に従事 (特殊救助隊12人、機動隊191人、警備犬2頭、ハンドラー3人、支援部隊等34人) の体制で行方不明者の搜索等を実施 (10月18日)
 - ・ 支援部隊4人を派遣 (10月18日)
 - ・ 派遣部隊合計239人2頭 (特殊救助隊13人、機動隊194人、警備犬2頭、ハンドラー3人、支援部隊等29人) の体制で行方不明者の搜索等を実施。5:05大島町内に避難勧告が発令さ

れたため住民の避難誘導を実施 (10月19日)

- ・派遣部隊合計239人2頭 (特殊救助隊13人、機動隊194人、警備犬2頭、ハンドラー3人、支援部隊等29人) の体制で行方不明者の搜索等を実施予定 (大島町内の避難勧告が解除され次第搜索活動再開) (10月20日)

【神奈川県警察による行方不明者の搜索】

- ・二宮町内において、危機管理対策課即応対策チーム (4人)、機動隊等 (37人) が行方不明者の搜索を実施 (10月16日)
- ・川崎市内において、機動隊等 (約80人) 及び舟艇 (1艇) で行方不明者の搜索を実施 (10月16日)
- ・二宮町内において、機動隊14人、警察署員16人、舟艇2艇及び県警ヘリ1機で行方不明者の搜索を実施 (10月17日)
- ・川崎市内において、機動隊16人、警察署員18人、舟艇1艇で行方不明者の搜索を実施 (10月17日)
- ・二宮町内において、機動隊12人、警察署員18人、舟艇2艇及び県警ヘリ1機で行方不明者の搜索を実施 (10月18日)
- ・川崎市内において、警察署員が行方不明者の搜索を実施 (10月18日)
- ・二宮町内において、警察署員20名、舟艇1艇及び県警ヘリ1機で行方不明者の搜索を実施 (10月19日)
- ・二宮町内において、警察署員20名、舟艇1艇及び県警ヘリ1機で行方不明者の搜索を実施予定 (10月20日)

【千葉県警察による行方不明者の搜索】

- ・機動隊等 (87人) により、行方不明者の搜索を実施 (10月16日)
- ・機動隊 (57人) 及び警察署員 (36人) により、行方不明者の搜索を実施 (10月17日)
- ・機動隊 (36人) 及び警察署員 (36人) により、行方不明者の搜索を実施 (10月18日)
- ・機動隊 (35人) 及び警察署員 (30人) により、行方不明者の搜索を実施 (10月19日)

③消防庁の対応

- ・各都道府県に対し警戒情報を発出し、適切な対応を呼びかけるとともに、速やかに被害状況を報告するよう要請 (10月15日10:30)
- ・応急対策室長を長とする災害対策室設置 (10月15日18:00)
- ・消防庁次長を長とする災害対策本部設置 (10月16日10:00)
- ・緊急消防援助隊とともに消防庁職員1名を現地派遣 (10月16日15:01)
- ・消防庁職員1名を現地派遣 (10月17日15:25)

【緊急消防援助隊】

- ・東京都知事から消防庁長官に対し緊急消防援助隊出動要請 (10月16日11:55)
- ・消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め (5都県14隊58名を消防防災ヘリで輸送) (10月16日11:55)
- ・東京都知事からの要請に基づき消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め (神奈川県隊7隊40名を旅客船により輸送) (10月16日18:00)
- ・東京都知事からの要請に基づき消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め (神奈川県隊2隊9名と救助資機材積載車両2台を、自衛隊 (C-1輸送機) により入間基地から大島空港に向けて輸送) (10月16日22:00)
- ・東京都知事からの要請に基づき消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め (神奈川県隊4隊8名、後方支援車両2台をヘリコプター及び自衛隊 (C-1輸送機) により大島空港へ輸送) (10月17日9:45)
- ・東京都知事からの要請に基づき消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め (神奈川県隊1隊3名、電源照明車2台をヘリコプター及び貨物船により大島へ輸送) (10月17日12:30)
- ・10月18日5:55以降5都県の11隊41名 (交替要員) が到着し、順次交替

- ・東京都知事からの要請に基づき消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め（静岡県隊1隊6名と救助資機材積載車両1台を、自衛隊（C—1輸送機）により浜松基地から大島空港に向けて輸送）（10月19日2:45）
- ・東京都知事からの要請に基づき消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め（埼玉県隊1隊2名と救助資機材積載車両1台を、自衛隊（C—1輸送機）により入間基地から大島空港に向けて輸送）（10月19日3:23）
- ・東京都知事からの要請に基づき消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め（静岡県隊1隊2名と後方支援資器材積載車両1台を、自衛隊（C—1輸送機）により静浜基地から大島空港に向けて輸送）（10月19日4:58）
- ・東京都知事からの要請に基づき消防庁長官から緊急消防援助隊に対して出動の求め（静岡県隊1隊5名と救助資機材積載車両1台を、自衛隊（C—1輸送機）により浜松基地から大島空港に向けて輸送）（10月19日5:11）
- ・5時55分以降 4都県の12隊49名（交替隊員）が到着し、順次交替

【出動隊数】：30隊128名（東京都1隊、千葉県4隊、神奈川県16隊、埼玉県4隊、静岡県5隊）
 【消防応援協定による応援】

- ・東京消防庁東京都大島町消防応援協定による応援

【出動規模】

東京消防庁消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー）（39名）、航空隊（29名）、救助活動隊員（52名）、後方支援隊（19名）、救急隊（2名）、指揮隊（5名）計146名が出動

【これまでの活動状況】

消防全体の延べ隊員数	延べ898名・日規模
うち緊急消防援助隊	延べ443名・日規模
うち東京消防庁※	延べ455名・日規模

※東京消防庁・東京都大島町消防応援協定による応援

④海上保安庁の対応

- ・気象警報等に留意し、随時、即応態勢をとり、情報収集を実施。
- ・千葉県館山市沖において、錨泊していたパナマ船籍貨物船（総トン数10,021トン、乗組員16名（全員フィリピン人））が強風に流され付近海岸に座礁。乗組員1名が軽傷。同人の救助のため、海上自衛隊第21航空群に災害派遣要請を発出、海上自衛隊所属機により同人を救助。船体は安定し、油等の流出なし（10月16日10:45）

【神奈川県二宮町の海岸における行方不明者（男児2名）捜索】

- ・巡視船1隻、航空機2機、特殊救難隊3名により捜索実施（10月16日）
- ・巡視船2隻、航空機1機により海上捜索実施（10月17日）
- ・特殊救難隊4名、潜士2名により潜水捜索実施。（20:45 二宮消防職員が行方不明者1名を揚収。）（10月17日）
- ・特殊救難隊4名により潜水捜索実施（10月18日）
- ・巡視艇1隻により海上捜索実施（10月18日）
- ・巡視艇1隻により海上捜索実施中

【伊豆大島の被害状況調査及び行方不明者捜索】

- ・大島町対策本部にリエゾン2名を派遣（10月16日）
- ・巡視船3隻、航空機1機により海上捜索実施（10月16日）
- ・巡視船3隻、航空機1機により海上捜索実施（10月17日）
- ・潜士4名により、元町港内の潜水捜索実施（10月17日）
- ・日本赤十字社医師等5名及び救援機材を航空機により伊豆大島に空輸（10月17日）
- ・大島町対策本部にリエゾン交代要員2名を派遣（10月17日）
- ・巡視船3隻により海上捜索実施（10月18日）
- ・潜士9名により、元町港弘法浜付近海域の潜水捜索実施（10月18日）
- ・元町港南方沖にて漂流遺体1名を発見、揚収。元町港にて警察に引渡し（本災害との関

連等確認中) (10月19日12:12頃)

- ・巡視船3隻により海上搜索実施中 (10月19日)
- ・潜水士9名により、元町港付近海域の潜水搜索実施中 (10月19日)

⑤金融庁の対応

- ・災害救助法の適用決定を受け、東京都内の関係金融機関等に対し、日本銀行と財務省関東財務局東京財務事務所の連名で「台風第26号にかかる災害に対する金融上の措置について」を発出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講ずるよう要請 (10月16日)

⑥総務省の対応

- ・防災行政無線に被害はないが、東京都大島町から災害対策用移動通信機器の貸出要請を受付 (10月16日)。簡易無線機15台を現地に配送、使用方法を教授済 (10月17日朝)
- ・災害救助法の適用を受けた地域を告知先とする無線局免許人に対し、電波利用料債権の催促状及び督促状の送付を停止する措置を実施 (10月16日東京都大島町)
- ・KDDI所属の東京都大島町の携帯電話基地局が台風26号被害により停止したことに伴い、10月17日21:51に臨機の措置により可搬型基地局の設置を許可。10月18日(金)09:30より運用開始。

⑦財務省の対応

- ・東京都大島町に対し、関東財務局から利用可能な国有財産(未利用地)のリストを情報提供 (10月16日)
- ・平成25年台風第26号による災害を危機認定し、日本政策金融公庫から指定金融機関(日本政策投資銀行、商工組合中央金庫)を通じた危機対応融資の対象に追加、財務省、中小企業庁及び農林水産省の連名で指定金融機関に対して同内容の通知文書を発出予定 (10月16日)
- ・災害救助法の適用を踏まえ、東京都に係る被災中小企業者への対応として、窓口における親身な対応、資金の円滑な融通等を要請する通知文書を、財務省、中小企業庁等の連名で日本政策金融公庫等に対して発出 (10月16日)

⑧文部科学省の対応

- ・北海道から中国・四国地方の各都県教育委員会に対し、通学時を含めた児童生徒等の安全確保及び二次災害の防止を要請 (10月15日11:07)
- ・文部科学省災害情報連絡室(室長:施設企画課長)を設置 (10月16日9:30)
- ・関係都道府県教育委員会に対し、台風第27号による二次被害を防止するため、前もって応急復旧や立入禁止等の措置を行い、児童生徒等の安全を確保するよう要請 (10月18日15時16分)。

⑨農林水産省の対応

- ・台風26号の接近及び通過に伴う園芸作物の被害防止に向けた技術指導の徹底及び農業共済の対応について通知を発出 (10月15日)
- ・大雨等に伴う二次災害等の発生防止及び緊急を要する復旧箇所の応急対策の実施等について(台風26号)通知を発出 (10月15日)
- ・台風26号接近に伴う山地災害及び林道施設災害発生時の対応について通知を発出 (10月15日)
- ・台風26号に対する備えと被害報告等(漁港・海岸保全施設・漁業用施設等)及び適切な対策の実施(漁船、養殖及び関連施設)について通知を発出 (10月15日)
- ・災害救助法が適用された東京都の関係金融機関に対し、通帳等を紛失した預貯金者等に対する応急措置の要請通知を発出 (10月16日)

- ・関東森林管理局がヘリコプターによる現地調査を東京都及び森林総合研究所と連携して実施（10月17日）
- ・被害状況の把握と今後の対応を検討するため、林野庁担当官を東京都に派遣（10月17日～）
- ・被害状況の把握と今後の対応を検討するため、森林総合研究所の専門家を東京都に派遣（10月18日～）
- ・被害農林漁業者等に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等について関係金融機関に通知を発出（10月18日）

⑩厚生労働省の対応

- ・災害救助法の適用を受け、災害の影響を受けて事業所が休業する場合に一時的な離職を余儀なくされた方に対して雇用保険失業等給付（基本手当）を支給する特別措置を実施。（10月16日）

⑪経済産業省の対応

- ・平成25年台風第26号による大雨等に係る災害に関して東京都に災害救助法が適用されたことを踏まえ、被災中小企業者対策として、特別相談窓口の設置、災害復旧貸付の適用、既往債務の返済条件緩和等、小規模企業共済災害時即時貸付の適用の措置を講じた（10月16日）
- ・平成25年台風26号による大雨等に係る被害に関して、東京都大島町において被災した電気の需要家からの申出に応じ、支払期限の延長、不使用付きの料金免除、工事費負担金の免除、臨時工事費の免除、使用不能設備に相当する基本料金の免除、引込線等取付位置変更に係る費用の免除する特別措置の認可を行った。（10月17日）

⑫国土交通省の対応

- ・国土交通本省非常体制（10月16日10:50）
- ・東京都大島町で活動しているTEC-FORCE等の陣頭指揮を行うため、土井国土交通大臣政務官を派遣。（10月17日）
- ・東京都大島町被災現場における被害拡大防止対策について、太田国土交通大臣が現地にてTEC-FORCEに対して指揮（10月19日）

【TEC-FORCEによる被害状況調査】

- ・関東、中部、近畿各整備局に配備する防災ヘリコプターにTEC-FORCEが乗り込み、伊豆大島上空、千葉県内房総半島上空の被災状況調査を実施。（10月16～18日）
- ・東京都大島町において24名が被災調査等の広域支援を実施。（本省及び関東地方整備局、中部地方整備局、国土技術政策総合研究所）（10月16日）
- ・東京都大島町において35名が被災調査等の広域支援を実施。（本省及び関東地方整備局、九州地方整備局、国土技術政策総合研究所）（10月17日）
- ・東京都大島町において83名が被災調査等の広域支援を実施。（本省及び関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、九州地方整備局、国土技術政策総合研究所）（10月18日）
- ・東京都大島町において71名が被災調査等の広域支援を実施。（本省及び関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、九州地方整備局）（10月19日）

【TEC-FORCE（リエゾン：情報連絡員）の派遣】

- ・北海道開発局より十勝総合振興局に2名、オホーツク総合振興局に2名、陸別町に4人・日、南富良野町に6人・日派遣。（10月16～17日）
- ・東北地方整備局より青森県南部町3名、弘前市に2名、岩手県盛岡市に1名、宮城県石巻市

へ2名、山形県山形市へ1名派遣。(10月16日)

- ・関東地方整備局より東京都庁、東京都大島町、千葉県庁、千葉県君津市、市原市へ計19人・日派遣。(10月16～19日)
- ・中部地方整備局より静岡県庁2名、三重県庁2名派遣。(10/15)

【土砂災害専門家の派遣】

- ・国土技術政策総合研究所より伊豆大島へ土砂災害専門家3名派遣(10月16日～)
- ・独立行政法人土木研究所より東京都大島町へ土砂災害専門家2名派遣(10月19日～)

【災害対策用機械等出動状況(台数) (10月19日15:00現在)】

機械名	北海道開発局	東北地整	関東地整	北陸地整	中部地整	近畿地整	合計
排水ポンプ車		10	7	1	1		19
照明車	2	1	7	2		1	13
待機支援車			3				3
パトロールカー			1				1
連絡車			2				2
Ku-SAT			3				3
衛星通信車			1				1
合計	2	11	24	3	1	1	42

⑬国土地理院の対応

- ・台風第26号による被災地域の斜め写真を国土地理院ホームページで公開(10月16日)
- ・台風第26号による被災地域の空中写真撮影を実施(10月17日)
- ・台風第26号による被災地域の空中写真を関係機関に提供(10月17日)
- ・台風第26号による被災地域の空中写真を国土地理院ホームページで公開(10月17日)
- ・台風第26号による被災地域の正射画像を関係機関に提供(10月18日)
- ・台風第26号による被災地域の正射画像を国土地理院ホームページで公開(10月18日)

⑭気象庁の対応

- ・気象庁本庁警戒体制(10月15日15:00)
- ・台風第26号に関する記者会見を実施(10月15日10:45)
- ・大島町の土砂災害警戒情報及び大雨警報・注意報の発表基準を引き下げて運用(10月18日～)
- ・東京管区气象台職員を派遣し、現地職員に対して気象解説を実施(10月18日～)
- ・気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める

6. その他機関の主な対応

(1) 医療活動関係(厚生労働省調べ:10月19日16:30現在)

- ・都内の3病院から伊豆大島に東京DMATを延べ3チーム派遣(東京都庁より要請)